

# 神戸市の防犯に配慮したまちづくり

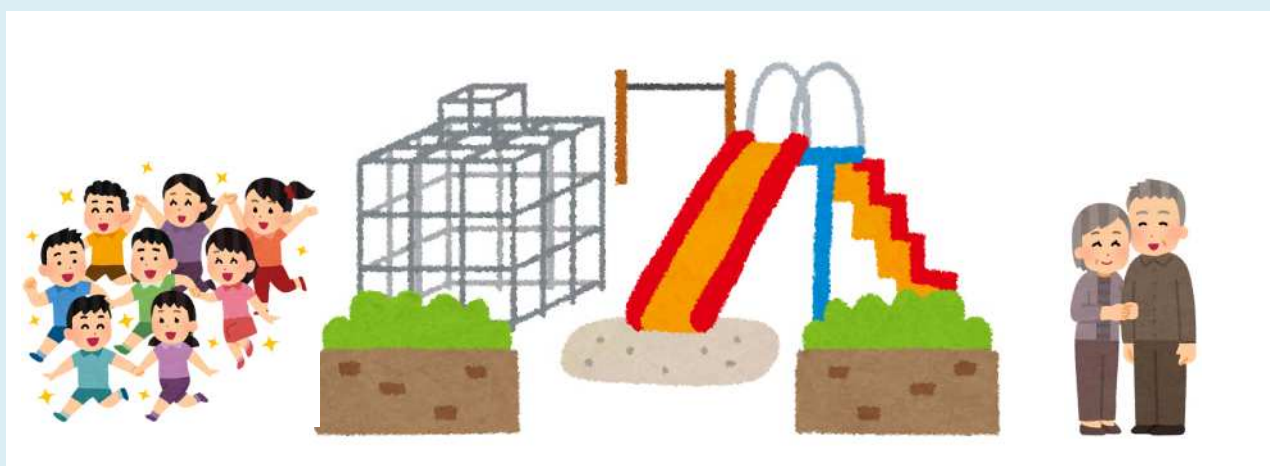
## 防犯に配慮したまちづくりとは…

市民のみなさまの生活をより安全にするために、神戸市では公共施設等の整備において、犯罪が起きにくいような工夫を行っています。本ページでは犯罪の起きにくい建物や道路を市民のみなさまに知っていただくために、神戸市が防犯に配慮して整備した公共施設等の事例を紹介します。

## 2つのテーマ

本ページでは神戸市で防犯に配慮して整備した事例を下記の2つの視点からまとめています。

### 子供の安全・安心を中心としたまちづくり



### 防犯環境に配慮した駅周辺や住宅等公共事業



## 防犯に強いまちづくりの3原則

犯罪が起きにくい環境を作るためには、下記の3原則が有効とされています。

### ①犯罪者を近づけない(領域性)

境界を設けて、犯罪者の力が及ばない範囲をはっきりさせること  
例)フェンス、ガードレールなど



### ②見通しをよくする(監視性)

人目につきやすくして、犯罪者が誰にも見られずに犯行できなくすること  
例)ガラス張り、防犯カメラなど

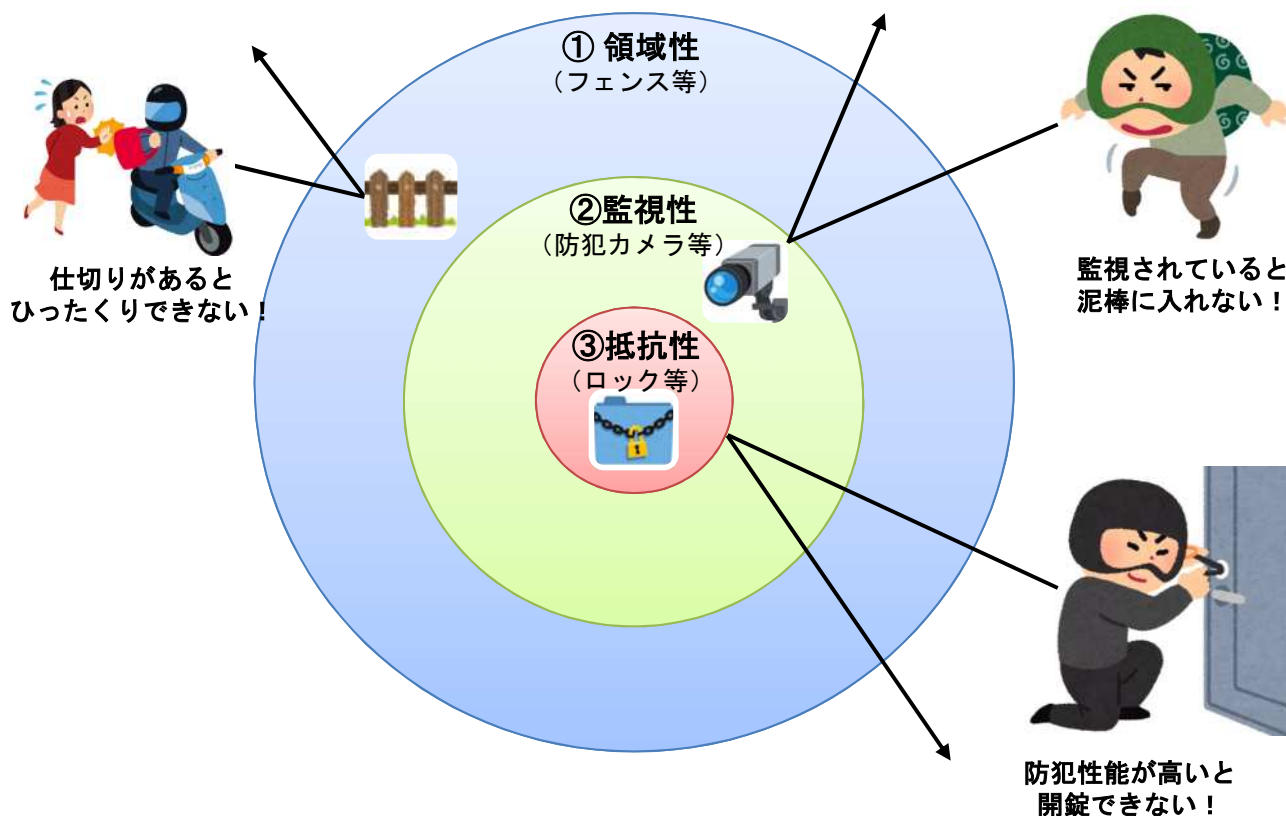


### ③犯罪に強い機能をつける(抵抗性)

犯行の対象となる物自体を、防犯性の高い設備や構造にすること  
例)ロック(錠)、シャッターなど



イメージ図



## 公園トイレの美装化

見通しをよくする(監視性)



### 取組の概要

公園のトイレを美装化した事例です。建物の外観を綺麗にするだけでも犯罪が起きにくい環境を生み出すことができます。

### ■ 整備前の課題

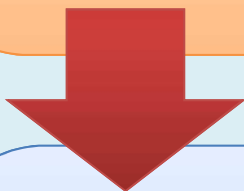


#### ・ 男女別の入口が分かりにくい

このトイレは一瞥して男女別の入口を判別できません。そのため、もし痴漢を目的とした男性が女子トイレに侵入した場合、入口が分かりにくいいため周囲の人が察知することは困難です。

#### ・ 外装が汚れている

秩序が乱れている場所では、地域の関心が低いという印象を犯罪企図者に与えるため、犯罪が起きやすくなってしまう。



### ■ 整備による効果



#### ・ 犯罪者が近づきにくい出入口

出入口が分かりやすいので、犯罪企図者が異性のトイレに入ろうとすれば周囲から発見されやすく、犯罪を起こしにくくなりました。

#### ・ 美装化による犯罪抑止

綺麗な外観になったことで周囲の関心が高まり、人目につきやすくなるため、犯罪企図者が心理的に犯罪を起こしにくい環境が生まれます。

## 学校の防犯性の強化

見通しをよくする(監視性)



### 取組の概要

神戸市では、全ての市立の小中学校、幼稚園に防犯カメラを設置しています。防犯性を高めるため、校内に誘導ラインを引いている学校もあります。



### ・防犯カメラの設置による犯罪抑止

防犯カメラの設置は、映像の記録だけでなく、監視していることを明示して犯罪を起こしにくくする効果もあります。



### ・誘導ラインによる犯罪抑止

校門から職員室までの誘導ラインを引いている学校があります。学校に侵入した犯罪企図者がラインから外れた場所に行こうとした場合、周囲から不審な行動とみなされ、「道に迷った」という言い訳できなくなります。

子供の安全・安心を中心としたまちづくり

## 通学路等への防犯カメラ設置

見通しをよくする(監視性)



### 取組の概要

神戸市では、子どもや女性に対する犯罪の防止を主な目的として、小学校通学路や主要駅周辺等へ約2,000台の防犯カメラ（名称：神戸市カメラ）の設置を進めています。

※令和4年3月末までに設置完了、令和4年4月から2,000台の運用開始を予定。



### ・カメラの看板効果による犯罪抑止

神戸市カメラは比較的大きく、一目で市の防犯カメラとわかる目立つデザインにしています。そのため、人目につきやすく、犯罪抑止効果に加え、通行者に安心感を与えることも期待しています。

## 防犯環境に配慮した駅周辺や住宅等公共事業

### ガードパイプによる歩道の整備

犯罪者を近づけない(領域性)



#### 取組の概要

児童の通学路となっている道路にガードパイプを設置した事例です。道路上の境界は、交通事故の防止だけでなく、路上犯罪の抑止にも効果があります。

#### ■ 整備前の課題

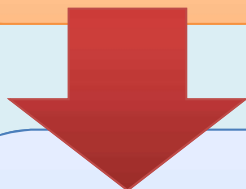


##### ・ 歩道に近づきやすい

仕切りがないため車道側から歩行者に簡単に接触できます。そのため、バイクのひったくり等が起きやすく、犯行後すぐに逃走できてしまいます。

##### ・ 交通事故が起きやすい

暴走した車が歩道に乗り上げてくる可能性があります。



#### ■ 整備による効果



##### ・ 境界を設けることによる犯罪の抑止

ガードパイプを設置したことで、車道から歩道へ近づきにくくなりました。車道と歩道の境界が明確になったことで、犯罪企図者が歩行者に接触しようという心理が起きにくくなる効果があります。

##### ・ 児童と車の接触事故の防止

車が歩道に進入してきたときに、被害を抑えることが期待できます。

## 子供の安全・安心を中心としたまちづくり

### 植栽整備による見通しの確保

見通しをよくする(監視性)



#### 取組の概要

公園の生い茂った植栽を防犯上の観点から撤去した事例です。公園で遊ぶ子供たちを狙った犯罪を抑止する効果があります。



#### ■ 整備前の課題

##### ・ 植栽で死角ができています

背の高い植栽で公園外部から死角が生まれていました。そのため、公園付近を通行する子供が、植栽の陰へ連れ込まれてしまう危険性がありました。



#### ■ 整備による効果

##### ・ 見通しの確保による犯罪

園路の段差を無くすバリアフリー化の整備と併せて植栽を撤去しました。公園内を見渡せるようになり、周囲からの監視の目で、犯罪の機会を減らす狙いがあります。

#### 外側から見た公園

右は公園を外側から見た写真です。公園の周りが通学路になっています。背の高い植栽を撤去したことで、通行者が公園の中を見渡せるようになりました。

